

指伝話メモリ サンプル解説

ショートカット編



2020年8月版



人と人とを笑顔で結ぶ ゆい
有限会社オフィス結アジア

〒251-0012 神奈川県 藤沢市 村岡東 3-12-10

電子メール info@yubidenwa.jp Tel. 0466-21-7448

ホームページ <https://www.yubidenwa.jp/> Fax. 0466-21-7996



指伝話メモリ サンプル解説 ショートカット編 (2020.8)

© 2020. Office Yui Asia Limited. All rights reserved. <https://www.yubidenwa.jp/>

指伝話 Yubidenwa は、有限会社オフィス結アジアの登録商標です。Apple、Appleのロゴ、iPhone、iPod touch、iPad、iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。この冊子に記載されたその他の製品名および企業名は、各社の商標です

最新版はウェブで

【目次】

はじめに	1
MyMusic 音楽をかける	2
MyMail メールを送る	4
MyMessage メッセージを送信する	6

指伝話メモリのサンプル解説

ショートカットサンプル編

はじめに

指伝話メモリとショートカットを組み合わせる使うサンプルのカスタマイズした使い方をご紹介します。



ショートカットの利点

URLスキームを使う場合は、基本的にメッセージアプリが開くところまでですが、ショートカットを使う場合は、メッセージを送信した後に指伝話メモリに戻ってくることができます。これによって、カードを選択するという操作だけでメッセージを送ることが可能となります。

指伝話メモリ1-2-3!

指伝話メモリの操作の基本的な内容については、「指伝話メモリ 1-2-3!」シリーズの説明書をご参照ください。(https://yubidenwa.jp/ym123/)

初めてのカード作り編

指伝話メモリの基本的な操作、カードの作り方を解説しています。

Keynoteでカードを作ろう編

サンプルのカード自体はKeynoteアプリで作成した画像です。その作成の仕方を解説しています。

アプリを呼び出そう編

URLスキームやショートカットを使用する場合、指伝話メモリのカードのタップ後の動作にある **アプリ呼び出し** に設定を記述します。この件に関する解説をしています。サンプルのカードでは、設定アプリ呼び出しの設定に書く内容を、わかりやすいようにカードの説明欄にメモしています。ここだけを変更しても機能は変わりませんのでご注意ください。

MyMusic 音楽をかける

MyMusicを使ってできること

指伝話メモリのカードを選択して、ミュージックアプリにある音楽を曲名を指定してかけることができます。再生と停止の指示もできます。

Apple Musicに加入していれば、ライブラリに追加されている曲をかけることができます。

音楽ファイルは、歌や曲だけでなく、効果音もあるので、呼び出しチャイムに利用することもできます。無機質なブザー音ではなく、出囃子と呼ばれる音として使うといったアイデアも実現できます。



サンプルの内容

MyMusicのサンプルには、**ショートカット**を使った操作が3種類入っています。

ショートカットを使う場合は、音楽を再生した後に指伝話メモリに戻ってくることができます。これによって、カードを選択するという操作だけで音楽を聴くことが可能となります。

ちなみに、サンプルで使用しているアルバムは、「**Heart of the Country + 3 - 深町純・心の抒情歌集**」というピアノ曲集です。ミュージックアプリにこのアルバムが入っているとカードを選択して曲を聴くことができます。ない場合は、自分の持っている曲にカードを変えてみてください。



サンプルの内容
再生・停止の他に、曲名を指定した再生ができる

サンプルの内容

内容	作り方	説明
再生	ショートカット	オーディオを再生します。
停止	ショートカット	オーディオを停止します。
曲名を指定して再生	ショートカット	ミュージックアプリにある音楽の曲名を指定して再生します。

再生や停止は、ミュージックアプリの再生や停止ということではなく、オーディオ操作の再生や停止です。

例えば、らじるらじるでラジオ放送を聞いている時に停止のカードを選択すれば、ラジオが止まります。その後に再生のカードを選択すればラジオが再開します。

音楽をかけるショートカットを使う方法

サンプルにある「大きな古時計」のカードの内容を説明します。



ショートカットを使ってメールを送るカード

Shortcuts://run-shortcut?name=MyMusic&input=大きな古時計

アプリ呼び出しに記述する内容

「Shortcuts://run-shortcut?name=MyMusic&input=」の部分は、「MyMusicという名前のショートカットを呼び出します。以下に続く内容を引数として渡します。」という呪文のようなものと理解してください。

MyMusic ショートカットは、**input=** の後の内容をショートカットを実行する際の条件として受け取ります。MyMusicの場合は「曲名に含まれる文字」を条件として指定します。

この部分を書き換えてカードに設定すれば、好きな曲を指定して再生するカードが作れます。

曲名の指定に「_Play」を指定すると再生、「_Stop」を指定すると停止となります。大文字小文字は区別されますのでご注意ください。

なお、サンプルのカード自体はKeynoteアプリで作成した画像です。その作成の仕方については、「指伝話メモリ1-2-3! Keynoteでカードを作ろう編」をご参照ください。

<https://yubidenwa.jp/products/memory/ym123-usekeynote/>

指伝話コミュニケーションパックなら

指伝話コミュニケーションパックで音楽をかける機能は、曲名だけでなく、アーティストやアルバムの指定ができるようになっています。同じ名前の曲で違うアーティストが歌っている場合や、同じアーティストで同じ曲でもアルバムが違う場合もあります。また、1曲だけでなくアルバム全部を聞きたいといった指定や、検索した結果をランダム再生にしたい、繰り返し聞きたいといった指定が可能です。また、音量の調整をする指定も用意されています。

MyMail メールを送る

MyMailを使ってできること

指伝話メモリのカードを選択して、メール送信ができます。

iPadをiPhoneと連動させて使う場合には、SMS（ショートメッセージ）を使うことができますが、Wi-Fi環境で使う場合には、メッセージの送信先がApple IDのアドレスおよびApple IDと関連づけられた電話番号に限られてしまいます。

一方、電子メールであれば、相手が使用している機器に限定されることがありません。



サンプルの内容

MyMailのサンプルには、**URLスキーム**を用いた操作と、**ショートカット**を使った操作の2つのタイプが入っています。URLスキームのカードは「>」マークが、ショートカットを使ったカードは「S」マークが、それぞれ入っています。

URLスキームを使う場合は、基本的にメールアプリが開くところまでですが、ショートカットを使う場合は、メールを送信した後に指伝話メモリに戻ってくることができます。これによって、カードを選択するという操作だけでメールを送ることが可能となります。



サンプルの内容
カード右下の記号で作り方が違いがわかる

サンプルの内容

内容	作り方	説明
メールを開く	URLスキーム	メールアプリを開きます。その後の操作はメールアプリを使って行うこととなります。
新規メールを作成	URLスキーム	メールアプリの新規メール画面を開きます。宛先・題名・本文を入力した状態で開くことも可能です。その場合は送信ボタンを選択するだけでメールが送信できますが、送信後はメールアプリが開いたままになるので、その後の操作もメールアプリを使って行うこととなります。
メールを送信	ショートカット	ショートカットを使ってメールを送信した後に、再び指伝話メモリの画面に戻ってきます。

メール送信のショートカットを使う方法

サンプルにある「今日は予定通り S」のカードの内容を説明します。



ショートカットを使ってメールを送るカード

Shortcuts://run-shortcut?name=MyMail&input=demo.yubidenwa@icloud.com+連絡+今日は予定通りです。よろしくお願ひします。

アプリ呼び出しに記述する内容

「Shortcuts://run-shortcut?name=MyMail&input=」の部分は、「MyMailという名前のショートカットを呼び出します。以下に続く内容を引数として渡します。」という呪文のようなものと理解してください。

MyMail ショートカットは、**input=** の後の内容をショートカットを実行する際の条件として受け取ります。MyMail の場合は「宛先アドレス+題名+本文」を条件として指定します。メールを送信する際の3つの条件を + で連結しています。

この部分を書き換えてカードに設定すれば、メールを送るカードを自由に作成することができます。

指伝話コミュニケーションパックなら

指伝話コミュニケーションパックでメールを送信する機能は、MyMailと基本的には同じですが、ショートカットが Yubidenwa に集約されている点が魅力です。他のさまざまな機能とともにご利用いただくことができます。

MyMessage メッセージを送信

MyMessageを使ってできること

指伝話メモリのカードを選択して、メッセージアプリからメッセージを送信することができます。

iPad/iPhoneのメッセージアプリは、本体に電話番号が紐付けされている場合は、いわゆる電話番号宛のショートメッセージを送ることができます。電話番号が紐付けされていない場合はApple IDを使っての送信ですので、相手がApple IDと紐付けされている場合は電話番号宛に送信できますが、そうでない電話番号には送信できません。その場合に送信できるのはApple ID宛のメッセージとなります。

送信相手がApple IDを持っていない場合は、メール送信を使うのが良いです。



サンプルの内容

MyMessageのサンプルには、URLスキームを用いた操作と、ショートカットを使った操作の2つのタイプが入っています。URLスキームのカードは「>」マークが、ショートカットを使ったカードは「S」マークが、それぞれ入っています。

URLスキームを使う場合は、基本的にメッセージアプリが開くところまでですが、ショートカットを使う場合は、メッセージを送信した後に指伝話メモリに戻ってくることができます。これによって、カードを選択するという操作だけでメッセージを送ることが可能となります。



サンプルの内容
カード右下の記号で作り方が違いがわかる

サンプルの内容

内容	作り方	説明
メッセージを開く	URLスキーム	メッセージアプリを開きます。その後の操作はメッセージアプリを使って行うこととなります。
新規メッセージを作成	URLスキーム	メッセージアプリの新規メッセージ画面を開きます。宛先指定・本文を入力した状態で開くことも可能です。その場合は送信ボタンを選択するだけでメッセージが送信できますが、送信後はメッセージアプリが開いたままになるので、その後の操作もメッセージアプリを使って行うこととなります。
メッセージを送信	ショートカット	ショートカットを使ってメッセージを送信した後に、再び指伝話メモリの画面に戻ってきます。

メッセージ送信のショートカットを使う方法

サンプルにある「こっちに来て S」のカードの内容を説明します。



ショートカットを使ってメッセージを送るカード

```
Shortcuts://run-shortcut?  
name=MyMessage&input=demo.yubidenwa@icloud.com+ここにきてください。
```

アプリ呼び出しに記述する内容

「Shortcuts://run-shortcut?name=MyMessage&input=」の部分は、「MyMessageという名前のショートカットを呼び出します。以下に続く内容を引数として渡します。」という呪文のようなものと理解してください。

MyMessage ショートカットは、**input=** の後の内容をショートカットを実行する際の条件として受け取ります。MyMessage の場合は「宛先アドレス+本文」を条件として指定します。メッセージを送信する際の2つの条件を + で連結しています。

この部分を書き換えてカードに設定すれば、メッセージを送るカードを自由に作成することができます。

指伝話コミュニケーションパックなら

指伝話コミュニケーションパックでメールを送信する機能は、MyMessageと基本的には同じですが、ショートカットが Yubidenwa に集約されている点が魅力です。他のさまざまな機能とともにご利用いただくことができます。